

出向く 営農レポート

東郷 夏の特産スイカ編

東郷グリーンセンターで7月20日(土) 21日(日)に開催する産直まつりにスイカの出荷を依頼している農家さんの圃場見学会を行いました。今回は一緒に巡回した近藤浩司さん・近藤きみ子さん・近藤かま子さんの圃場を紹介します。



東郷地域担当
村瀬 淳



近藤きみ子さんの圃場

30本のスイカを植えています。4月18日に定植し、5月末でここまで大きくなりました。子づる4本出しで十字に誘引し、カラスなどの鳥害を防ぐため葉をある程度茂らせ、子づるは最低限しか取りません。

毎年農薬を使用せず栽培しているとのことだったので、梅雨の時期にしやすい「うどんこ病」を防ぐためにも殺菌剤散布を検討するよう提案しました。

近藤かま子さんの圃場

近藤浩司さんが「子づるの葉15枚目くらいに付く実が一番おいしくできると、葉の枚数を数え「ちゃんといところ実がついているようだ」とアドバイス。

肥料は園芸化成を使用せず、油粕や有機配合肥料のフルミックスなどを使用しているとのことだったので、来年はこういった肥料の提案も積極的に行っていきます。



近藤浩司さんの圃場

40本のスイカを植えています。ここからマルチ貼り・藁敷き・誘引します。スイカ栽培で一番難しいのは収穫のタイミングで、交配した日を必ずメモし、ツルの様子を確認しながら一番おいしい状態で食べてもらえるように出荷しています。



スイカの防除について

うどんこ病

- トリフミン水和剤：3,000～5000倍
収穫前日まで：5回
- アフェットフロアブル：2000倍
収穫前日まで：3回

ウリハムシ

オレンジ色の体の特徴で葉を食害します。

- モスピラン顆粒水和剤：4000倍
収穫3日前まで：3回
- ダントツ水溶剤：2000～4000倍
収穫前日まで：3回

職員の一言

今回のように生産者がお互いの圃場を見学することは初めての試みでしたが「他の農家さんの畑を見る機会がないので参考になって良かった」との声をいただきました。

浩司さんときみ子さんには6月の初旬に定植し、お盆頃に出荷できるスイカの栽培も依頼しています。産直まつりだけでなくお盆にも美味しいスイカを皆様にお届けできるよう協力して頑張っていきます。